宇都宮大学大学院 教職大学院際

教育学研究科 教育実践高度化専攻

確かな指導理論と優れた 実践力・応用力を育むために



特別支援学校教諭専修免許状が 取得できるようになりました



教職大学院とは?

学校現場の教育課題を研究する大学院

学校現場の教育活動を課題とし、学校現場と 大学を行き来しながら実践研究を進めます。そ こでの研究成果を学校現場や地域に還元しなが ら教員としての資質・能力の向上を目指す、実践 指向型の大学院です。宇都宮大学では、平成27 年4月に開設しました。



宇都宮大学教職大学院の特徴

1 3つの力を育成します

本教職大学院では、学校改革・授業改善のリーダーとなるべき人材を育成します。そのために、現職院生も学卒院生も、それぞれに次のような力を獲得することができます。

学校改革力

「学校改革力」とは、学校改革のため学校課題を見極め、その解決を推進する力量や、学校内外と協働して課題解決に取り組む力量などで構成されます。

授 業 力

「授業力」は、授業研究を組織し、リードできる力量や、すべての学習者の深い学びを保障することのできる力量などで構成されます。

学校 改革力_

授業力

育成する **3つの力**

個への対応力

個への対応力

「個への対応力」とは、個に応じる特別支援教育の考え方を学習指導や学級・学校経営に生かす力量であり、学校改革力、授業力を下支えする力となります。

2 学校現場に密着した 実践研究を進めます

本教職大学院の中核は、「教育実践プロジェクト」です。大学院生と大学教員が1つのチームとなり連携協力実習校(在籍校も可)の課題と照合して自らの研究課題として取り上げ、学校現場と連

携しながら課題解決を進めることで、学校現場に 生きる実践力を身に付けます。現職院生は原則と して2年間同じ学校で行うことで、より深い課題解 決を目指します。テーマの例を以下に掲げます。

1年次の学卒院生は、附属学校で長期インターンシップを行います。2年次は現職院生と一緒にプロジェクトに参加します。

学校改革力

- ●生徒が話したくなる問い作りの視点
- ●「思考の深まり」を促す授業における手立て
- ●小学校社会科と中学校社会科をつなぐ 授業づくり
- ●一人ひとりが分かる楽しさを味わうことができる算数・数学の授業の展開
- ●数学科ティーム・ティーチングを中心と した同僚性構築の取組

授業力

- ●子どもたちが英語を「聞きたい・話したい」と思う小学校外国語授業
- ●協同学習による学びの定着と深まり
- ●児童が問いをもつ算数の授業づくり
- ●振り返りの改善が及ぼす効果
- ●メンターチームによる授業力向上の取組

個への対応力

- ●通常学級における特別支援教育の指導 と評価
- ●一人一人の自己肯定感を育むための学級 づくり
- ●障害がある子どもとのコミュニケーション
- ●小中高の連続した学び方の研究
- ●心を表現する子どもを育てる
- ●授業を核とした 「ゆたかな」 学びの創造

平成30年度修了生の成果報告書より作成



最新の理論や指導方法を 幅広く学べます

共通科目は、現代的な教育課題とその課題に 直結する教育理論と実践的なアプローチを網羅 的に学びます。

選択科目(分野別選択科目)は、大学院生の関

心に応じて受講します。現職院生は個人の関心 に応じて、3つの科目群(学校改革、授業改善、個 に応じた支援)から、1つの科目群を選択し、その 群を中心に履修します。学卒院生は、3つの科目 群の基礎をバランスよく学びます。

理論と実践をていねいに つないでいきます

教育理論と学校現場での活動(これまでの実 践や教育実践プロジェクト)をつなぐための科目 「リフレクション」を設定しています。年間を通し て、現場での活動を省察し、次の活動に生かすこ とを繰り返し、その成果を実践報告書としてまと めます(修士論文は作成しません)。

* 「授業力」を自ら伸長すべき能力として設定した 現職院生のカリキュラムイメージです。

高度の専門的知識に基づく実践的指導力の修得

授業改善 に関する 実践的課題を追求する ための力量の形成

> 授業改善に関する 選択科目 6単位以上

- ①学習科学と協調学習 ②言語活動を軸にした教育内容・方法論
- ③国語授業デザイン論
- ④算数・数学授業デザイン論
- ⑤社会科授業デザイン論 ⑥理科授業デザイン論
- ⑦英語授業デザイン論
- ⑧道徳授業デザイン論
- 9教育実践研究方法論

授業改善 に 隣接する力量の 形成

> その他の 選択科目 2単位以上

- "学校改革"に 関する科目
- "個に応じた支援"に 関する科目

成果発表 報告書作成

改 善

省察(分析)

計画立案 課題設定

省

理論と実践を 往還する 力量の形成

察

授業改善を テーマとする 連携校での 教育実践 プロジェクト

10単位以上(300時間以上)

教職員と協働しながら 授業改善を推進する 力量の形成

> 入学前の 現職経験

学校改革 授業改善 個への対応 の 現代的課題と関連する理論の理解と、 教育実践の省察

共通科目 20

①教育課程の編成・実施に関する領域 ②教科等の実践的な指導方法に関する領域 ③生徒指導、教育相談に関する領域

④学級経営、学校経営に関する領域 ⑤学校教育と教員の在り方に関する領域

理論・問題解決の方法論

リフレクション 8単位 践



現職院生(平成29年度入学) 井 寺 在籍校:栃木市立西方中学校

学校全体に関わる仕事を任されたり、若手を育てたりしていく中で湧いてきた「これでいいのかな?」と いう思い。「いつの間にか『あたりまえ』になっていたことを問い直そう。」これが、入学するきっかけでした。 大学院の授業では、「学校改革」「授業改善」「個への対応」の3つの視点から幅広く学ぶことで、より広い視 点から教育について考えることができるようになりました。「教育実践プロジェクト」では、授業研究につい て実習校の先生方と対話しながら実践を行うことで、様々な気付きを得ることができました。

教職大学院の2年間は、教師としてだけでなく、人としての在り方を問い直し、再構築する時間でした。そ して、それをもたらしたのは、大学や実習校の先生方や地区・校種・年齢の違う仲間との出会いです。これか らも、出会いを大切にし、先生方や子どもたちと共に学び続けていきたいと思います。

授業科目と履修方法

3つの力を育てる授業科目

3つの力を育成するために、共通科目、分野別選択科目、教育実践プロジェクト、リフレクションを設定します。必要修得単位数は46単位です。それぞれの指導は、研究者だけでなく実務家教員(教員等経験者)が一緒に行います。



共 通 科 目 必修:20単位

- 1 教育課程の編成・実施に関する領域
 - √ ❶ カリキュラム開発の実践と課題
 - ₹ 2 個に応じた指導の実際と評価
- 2 教科等の実践的な指導方法に関する領域
 - (3 教材開発と教育方法の実践と課題
 - 授業研究の運営と課題
- 3 生徒指導、教育相談に関する領域
 - 6 生徒指導の実践と課題
 - (6 特別支援教育の実践と課題
- 4 学級経営、学校経営に関する領域
 - 学校改革の実際と課題
 - 🦳 🔞 学級経営の実践と課題
- 5 学校教育と教員の在り方に関する領域
 - 学校教育をめぐる現代的社会状況とその対処
 - 🕡 現代教師論

分野別選択科目選択:8単位以上

業

科

目

- 1 学校改革に関する科目群
 - 集団づくり論 ※
 - ② 学校評価の開発実践
 - 🔞 栃木の学校改革
 - 🤇 4 学校と地域の連携に関する実践と課題
 - (🗲 学校における「管理」実践とその課題
- 3 個に応じた支援に関する科目群
 - 授業における個のとらえ方と対応 ※
 - 2 特別支援教育コーディネーターの役割と課題
 - █ 特別な支援が必要な子どもへの理解と対応
 - 障害の重い子どもへの教育の在り方
 - (5 知的障害教育の理論と実践
 - (⑥ 肢体不自由教育の理論と実践

- 2 授業改善に関する科目群
 - 授業実践基礎/授業実践基礎(特別支援学校)※
 - (2 学習科学と協調学習
 - (❸ 言語活動を軸にした教育内容・方法論
 - 4 国語授業デザイン論
 - 🤇 ᠪ 算数・数学授業デザイン論

 - → 理科授業デザイン論
 - ❷ 英語授業デザイン論
 - ❷ 道徳授業デザイン論
 - 教育実践研究方法論
 - 🛈 教科教育特論
 - 2 教材論
 - ●現職院生は、選択した科目群から6単位以上を履修
 - 学卒院生は、※科目を必ず履修

実 習 科 目 必修: 10単位(5単位×2、計300時間以上)

- 教育実践プロジェクト I・IIA・IIB / 教育実践プロジェクト I・IIA・IIB (特別支援学校)[I・II A: 現職院生 1~2 年次、II B: 学卒院生 2 年次]
- 長期インターンシップ / 長期インターンシップ (特別支援学校) [学卒院生1年次]

※()内は単位数

リフレクション 必修:8単位(通年4単位×2)

省察、報告書作成等の実施

授 業 教育実践プロジェクトの計画、

※()内は単位数

授

業

科

目

履修スケジュールと時間割例

4月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 共通科目 分野別選択科目 分野別選択科目 年次 実習科目(週2日程度・150時間以上) リフレクション(活動計画、活動の分析・考察、報告書の執筆) 共通科目 2 年 分野別選択科目 分野別選択科目 実習科目(週2日程度・150時間以上) リフレクション(活動計画、活動の分析・考察、報告書の執筆)

・教育実践プロジェクトは9月から12月を予定しておりますが、その他の期間も連携協力校とゆるやかに連携します。

		月	火	水	木	金
	1~2限	授業研究の 運営と課題	授業における 個のとらえ方と対応	授業実践基礎		個に応じた指導の 実際と評価
前	3~4限	学級経営の 実践と課題	生徒指導の実践と課題	集団づくり論		学校改革の 実際と課題
期	5~6限	カリキュラム開発の 実践と課題			現代教師論	リフレクション
	7~8限	教材開発と教育方法の 実践と課題		特別な支援が必要な 子どもへの理解と対応	特別支援教育の 実践と課題	リフレクション
141	1~2限	実践プロジェクト			実践プロジェクト	
後	3~4限	実践プロジェクト			実践プロジェクト	道徳授業デザイン論
期	5~6限	実践プロジェクト			実践プロジェクト	リフレクション
747	7~8限	実践プロジェクト			実践プロジェクト	リフレクション

「個への対応力」を重視した時間割の例(科目名は平成30年度のもの)





学卒院生(平成29年度入学) 伊藤 在籍校:白鴎大学教育学部卒業

私に大きな変化と成長を与えてくれた、宇都宮大学教職大学院での2年間でした。2年前の私は授業を 観るとき、「先生はどのように教えているのか」や「板書はどのようにまとめているのか」など、視点を授業者 に置いていました。しかし今では、「子どもたちがどのように学んでいるのか」に視点を置き、子どもたちの 学びを中心に考えられるようになりました。また、学卒院生の私にとって、現職の先生方と同じ環境で学べ たことは、とても貴重な経験となりました。教職大学院で受ける授業や実習での授業実践について、学卒院 生と現職院生が混ざり合ってリフレクションすることで、様々な視点から学びを得ることができました。「自 分の授業を省察し、学び続ける姿勢」を大切にし、宇都宮大学教職大学院で学んだことを、子どもたちの ために生かしていきたいと思っています。



現職院生(平成30年度入学) 勝美 萩 原 在籍校:栃木県立今市特別支援学校

教職大学院での学びは、特別支援学校での道をずっと歩んできた私にとって、とても新鮮なものでした。 小学校、中学校の現職の院生や、学卒院生の皆さんと対話を通じてそれぞれの現場の様子を知ったり、学校 訪問では授業研究会の仲間に入れていただいたりして、講義や論文からの理論だけでなく、現場での実践か ら学ぶことができました。また、「教育実践プロジェクト」では、勤務校で実習をさせていただき、小学部から 高等部までの12年間を見とおした視点からキャリア教育の取組を見取り、研究を進めることができました。

学びの機会をいただき、1年が過ぎました。次年度は、「学校改革力」「授業力」「個への対応力」の3つの視 点からの学びと、現場(実践)とのつながりを大切に、さらに学びを深めたいと思います。



学卒院生(平成30年度入学) 齋藤 大 秀 在籍校: 宇都宮大学教育学部卒業

教職大学院には私のような学卒院生と現職院生がおり、1年の前期は授業を含めてほとんどの時間を一緒に 過ごします。授業ではグループでの話合いがよく行われます。はじめは遠慮してしまう場面もありましたが、本音 を話さなくては子どもたちや教育のことを真剣に考えることはできないと気付き、徐々に話すことができるよう になりました。また、本音を出し合うことで深い関係を築くことができたと実感しています。これらは私にとって大 きな学びです。後期には自身の研究についての考えや、実習での気付きを、毎週金曜日のリフレクションの時間 に話します。そこには率直な意見や感想が返ってきます。教授や他の院生と、子どもたちの学びについて「語る」 [考える][実践する][省察する]このサイクルが、自身の学びとなり、最終的には子どもたちの学びの充実につな がることを感じております。ここでの出会いと学びを大切にして、充実した1年になるようにしたいと思います。

教職大学院のメリット

教職修士(専門職)の学位が取得できます。また、現有の一種免許状について、専修免許状を取得することが可能です。

現職院生にとって 優れた実践力・応用力を 備えることができます。

教職大学院は、長期にわたり学校現場と密接に関わることと、自らの活動を最新の指導理論から省察することで、現代的な教育課題に対する実践力・応用力が身に付きます。また、大学の講義では、教育実践のみならず、学校経営の視点を身に付けることができます。修了後は、理論と実践が融合し、学校や地域のリーダーとなって活躍することが期待できます。

学卒院生にとって 実践的な指導力・展開力を 備えることができます。

学部の教育実習で学んだことを教職大学院の 長期インターンシップでさらに深め、学校現場で すぐに生かすことのできる実践的な指導力や授 業の展開力を十分に身に付けることができます。 また、現職教員と共に活動することで、幅広い年 代と協働する力を身に付けることができます。

学校現場にとって 学校の課題解決への手が かりを得ることができます。

大学院生が、学校の課題を一緒に考え、また、大学教員も、実習と密接に関わりながら、学校に協力することにより、さまざまな視点からの検討や実践が可能になります。実習を通した関わりだけでは十分な成果に結び付かないかもしれませんが、課題解決への手がかりを得ることに協力できます。また各連携協力校に対しても、必要であれば大学のサポートを継続します。

スタッフ

専 任 教 員

※専任教員は、実習科目・リフレクションを 担当することができます。

教 授 青柳 宏 専門分野 教育学・教育方法学

□ 数 授 池本喜代正

専門分野 特別支援教育・ 特別ニーズ教育システム研究 准教授 岡澤 慎一

専門分野 障害児心理学・ 重複障害教育・特別支援教育

^{准教授} 小野瀬善行

専門分野 教育制度学・教師教育

准教授 菊地 高夫

専門分野 国語教育・生徒指導

准教授 司城紀代美

専門分野 特別支援教育・ 発達臨床心理学

講 師 高久由紀子

専門分野 英語教育・学級経営

教 授 人見 久城

専門分野 理科教育学・ カリキュラム開発 教 授 日野 圭子

専門分野 数学教育学

教 授 松本 敏

専門分野 社会科教育・授業研究

講 師 皆川美弥子

専門分野 国語科教育・学級経営

准教授 和井内良樹

専門分野 道徳教育

新工業 石嶋 和夫

専門分野 学校経営学・カリキュラム学

募集概要

求める学生像

本教職大学院では、以下のような学生を求め ます。

- ●地域や学校における指導的役割を果たし得る 教員等として不可欠な確かな指導理論と優れ た実践力・応用力を備えたスクール・リーダー になることを志向する現職教員
- ●学部段階での資質能力を修得した者(教員免 許保有者)の中から、さらにより実践的な指導 力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な 一員となり得る教員を志向する者

募集人数と選抜方法

↓ 募集人数 18名(学部卒者5名程度・現職教員10名程度)

2 選抜方法

	受験者の区分	検査科目と配点
1 1 1	4年制大学を卒業もしくは3月末までに 卒業見込みで、教員免許状を取得もしくは 3月末までに取得見込みの者	「小論文:200点」と「口述試験:200点」
HV HH HKPU	現職教員(6年から20年程度の経験を有すること) 県教育委員会派遣現職教員等	「□述試験(「教育実践概要」の審査を含む):400点

^{*}選抜方法や募集日程の詳細は、宇都宮大学大学院教育学研究科 教育実践高度課専攻 学生募集要項をご覧下さい。

学費

栃木県教育委員会派遣の方は 入学料の半額を免除します の 入学料 282,000円

→ 授業料 535,800円(年額)

扣 教

准教授

新井 思美

専門分野 音楽教育・音楽理論

和明 准教授 飯田

教育学・国語教育学

石川由美子 准教授

臨床発達心理学・ 専門分野 障害児心理学

石塚 講師 諭

専門分野 体育科教育学

井口 智文 教 授

生物教育・発生生物学

准教授 上原 秀一

専門分野 道徳教育・教育哲学・ 比較教育学

川上 講師 貴

専門分野 算数・数学教育

川原 准教授 誠司

教育相談・臨床心理学 専門分野

准教授 久保 元芳

学校保健学・健康教育学 専門分野

小原 一馬 准教授

専門分野 教育社会学

田村 岳充 助教

英語教育・授業研究

溜池 善裕 教 授

社会科教育・教育方法・ 専門分野 授業分析

准教授 出口 明子

専門分野 理科教育・科学教育

准教授 牧野 智彦

専門分野 数学教育学

丸山 剛史 准教授

専門分野 学校教育学・教育課程論

教 授 南 伸昌

化学教育・理科教育

森田香緒里 准教授

教育学・国語科教育

山野 准教授 有紀

児童英語教育・ 専門分野 英語科教育法

廣瀬 兼任講師

専門分野 成人教育学

教職大学院へのアクセス

☆**峰キャンパス**(JR宇都宮駅から2.2km)

JRバス

のはがい。もでで、他は時間がある。他は時間をかなり (祖母井、茂木、清原台団地、清原球場、ベルモール行など) JR宇都宮駅西口バス乗場③から乗車。約15分。「宇大前」下車

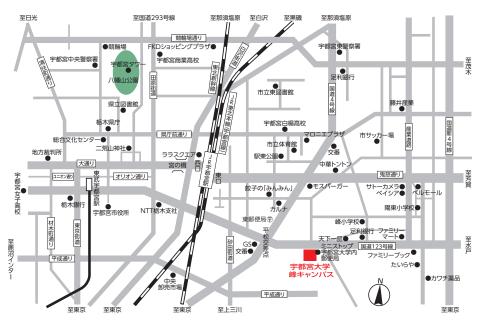
関東バブ

- ◆JR宇都宮駅西ロバス乗場から、以下のいずれかに乗車し、 「宇都宮大学前」で下車(約15分)
- •卸団地循環線 •真岡営業所行 •海星学院行 •益子行
- ・ベルモール行 ・御幸交番前行 ・平出工業団地循環線 ◆JR宇都宮駅東口バス乗場から宇大循環バス(左回り)に乗車
- し、「宇都宮大学前」で下車(約10分) ◆東武宇教宮駅パフ乗場から乗車」、「宇教宮大学前」で下車
- ◆東武宇都宮駅バス乗場から乗車し、「宇都宮大学前」で下車 (約25分)

タクシー

JR宇都宮駅東口から乗車。約5分。 東武宇都宮駅西口から乗車。約15分。





宇都宮大学 教育学部

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

TEL.028-649-5242 総務係

TEL.028-649-5112 入試課 http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/koudoka/